

あなたの水感覚は新しいですか？

水をめぐる課題

水は、雨や雲、水蒸気、川、海、地下水など形を変えながら地球をめぐり、ときには動物や植物などに取り込まれ、太古の昔から変わらず循環しています。

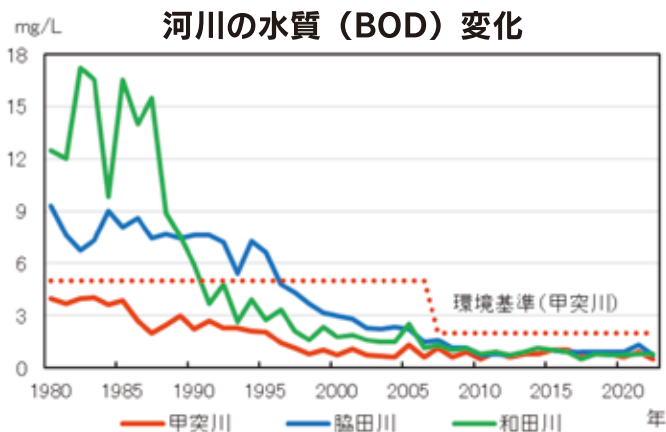
この水の循環の中で、私たちは家庭生活や工場、飲食店、オフィスビル、農業、畜産など、あらゆるところで水を利用しています。

雨が多く水の豊かな日本ですが、1人あたりが利用できる水の量は、世界と比べると多くありません。そして、私たちの暮らしにおける水利用の増加や都市化・舗装による水の地下浸透の低下、地球温暖化による気候変動などによって、水資源の悪化が心配されています。



水を汚す原因と河川の水質は？

鹿児島市内の河川の水質は改善され、きれいな状態を保っています。



鹿児島市内の多くの河川は、鹿児島湾につながっています。

湾内に流れ込む汚れの原因は、

農林系(施肥や林業) > 生活系(生活排水)
> 水産系(養殖業) > 畜産系(畜産業)
> 事業場系(工場・事業場排水)

の順となっており、私たちの家庭からの排水も大きく影響しています。



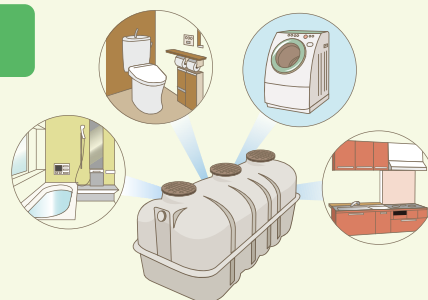
BOD(生物化学的酸素要求量: Biochemical Oxygen Demand)とは？

水の汚れを表す代表的な目安です。水中にある汚濁物質(主に有機物)が微生物によって分解されるときに消費される酸素量のことで、値が大きいほど水の汚れの量が多いことを示します。

合併処理浄化槽への転換・公共下水道への接続を！

家庭からの生活排水を適正に処理すれば、川や海への負荷を減らすことができます。

トイレからの水だけを処理する「単独処理浄化槽」や「くみ取り槽」であれば「合併処理浄化槽」に転換し、公共下水道が整備されていればこれに接続すると、全ての生活排水が処理され、川や海をきれいにすることにつながります。



いつのまにか川や海を汚していませんか？

水を大切にするための心がけ

1 ごみを捨てない・流さない



川や海にごみを捨てたり、ペットボトルやゴミ袋などを雨・風で流出させたりしないように注意しましょう。

2 洗剤の適量使用



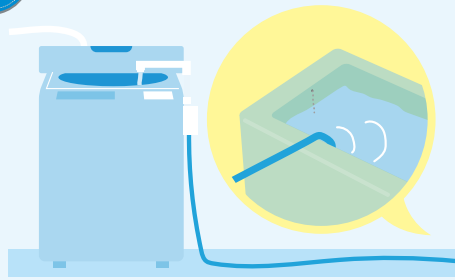
食器洗いや洗濯などのとき、洗剤は適量使しましょう。また、シャンプーやボディソープなどの使い過ぎには注意しましょう。

3 油は流さない



油污は食器洗いの前にふき取り、残った油はできるだけ回収しましょう。油を捨てるときは、新聞紙などに吸わせて、燃やせるゴミへ。

4 節水のすすめ



まとめ洗いで洗濯回数を減らす、歯みがきや洗顔のときに水を流したままにしない、節水型の機器を使用するなど、節水に努めましょう。

5 洗車の排水に注意



洗車はなるべく洗車場やガソリンスタンドで行いましょう。自宅前で洗車するときはバケツを使用し、特に洗剤を使用したときは側溝に流さないようにしましょう。



灯油の 廃棄注意



残った灯油は、絶対に側溝に捨てないでください。誤って油を流してしまった場合は、油吸着マットなどで回収しましょう。流出した油を水で洗い流すと汚染の拡大につながります。



塗料の 流出注意



ハケなどの塗装で使った道具や残った塗料は、屋外の洗い場に流すと着色した水が側溝から川に流れ、汚染の原因となります。道具はできるだけ塗料をふき取り、屋内で洗いましょう。